外国人インタビュー

英語医療通訳スタッフ、英語講師 アビー・ニコラス・フリューさん



アビー・ニコラス・フリューさんはアメリカのカリフォルニア州ロスアンジェルス市出身。

50か国を訪れて幾つかの国で生活した経験をお持ちで*5か国語を話されます。

12年前に来日され、MICかながわ英語医療通訳スタッフ、私立大学非常勤講師、横浜市国際交流協会英語講師を務められています。 9月5日の「英語による国際理解講座」で「フランス料理VS日本料理」と題したレクチャーは大変興味深いものでした。 コロナ禍の中ですが、レクチャーの後インタビューをさせていただきました。 *英語、日本語、フランス語、中国語、スペイン語

日本にこられた経緯を教えてください。

アメリカでパフォーミング・アーツを勉強して、ミュージカ ル・ダンサーをしていました。最初、来日したときは東京ディ ズニーランドで半年間、ダンスと歌の仕事をしました。それ からクルーズ船のスチュワードとエンターテイナーとして多 くの国を回りましたが、交通事故で怪我をして、ダンサーを 諦めて教育関係の分野に進むことにしました。

大学院に行くのに世界のどの都市が良いか考えた結果、 東京にしたのです。最初に大学院の入学許可が来た、公共交 通機関が便利、東京ディズニーランドの仕事で日本を知って いるなどが決め手でした。大学院修了後、マレーシアなど東 南アジアの国で仕事をしていましたが、日本は街が安全で 清潔、食べ物が美味しい、そして四季があるのでもう一度日 本に行こうと決めて、12年前に来日し、現在に至っています。

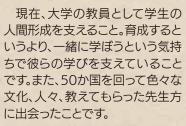
コミュニケーションの仕方やカルチャーなど、 日本が他の国と比べてユニークだと 感じるところはありますか?

知らない人とすれ違ったとき、何も言葉を交わさずに通り

アメリカ、オーストラリア、フランスなどでは「こんにちは」 など、一言交わす

- よくお辞儀をする
- ●各地の名産品をお土産にする習慣がある
- ●食べ物が美味しい
- 東京や横浜には外国人が多い地域もあるが、だいたい街 には日本人だらけ
- ●モラルは高いが規則を守らない面もある、例えば違法駐 車が多い

色々なお仕事の経験の中で最もやりがいや 意義を感じたのはどういうことですか?



いくつもの言語をお話になると伺っていますが、 外国語を習得する勉強法を教えてください。

まず、母語をしっかり習得すること。外国語のレベルはそ の人の母語レベルの高さまで伸びます。従って母語レベル が高いほど外国語レベルも高くなります。

現在、大学で教えている国文学専攻の学生は英語レベル が高いです。

基本は1日15分、毎日聴く、話す、ですが、これを根性で、 または習慣にして続けることです。

お勧めはNHKのラジオ講座で、毎日15分やっています。 テレビ講座は視覚で学習しているかのように感じてしまい がちですが、実は聴覚は自分が感じているほど訓練されて いません。むしろ、ごまかされているとさえ言えます。ラジオ の方が集中出来て、聴覚が訓練されます。

4月に始めて夏休みまで続けたら、かなり聴く、喋ること に慣れます。1年続けたら中学、高校レベルの英語を聴いて わかるし、話せる様になるでしょう。

後は体験を積むことに限ります。

- ●日本での日常生活を英語で話すなどして、話すことに慣
- ●留学やホームステイをして、海外の社会生活を通して、聴く、 話す体験をすること 日本人グループで群れてはダメ

将来の夢や計画はどういうことでしょうか?

夢も希望もあります。しかし、何も期待しないという構え でいます。というのは、現在のコロナ禍の状況は人類で誰も 予想できなかった。私は仕事の3/4を失いました。

将来の計画がどうなるかわからない。とはいえ、今回の日 本滞在は長いので、今までの50か国での短期滞在とは違っ て、人々との付き合いを深めることができています。夢の実 現に向けて、健康で仕事を楽しんで、経済力を持ち、勉強を 続けていきます。

異色の経歴と並外れた語学力をお持ちのフリューさんは インタビューでも広範なバックグラウンドからの話が次々と 出て、聞き入ってしまいました。インタビュー項目以外の話も かなりあって、もう1頁欲しいなと思いました。

(取材・文:編集ボランティア 小島俊彦)



アビーさんと小島編集ボランティア